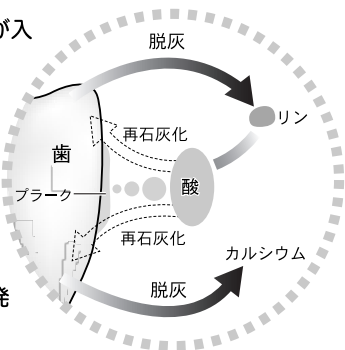


フッ素とむし歯予防のメカニズム

最近ではテレビでもフッ素のむし歯予防効果が、大きく報じられています。フッ素のむし歯予防メカニズムに迫ります。

まずむし歯の成り立ちを知りましょう。食べ物が入ると口の中は酸性になり、歯のエナメル質(歯の一番表層の部分)の成分であるカルシウムとリンが溶け始めます(脱灰)。食後40分ぐらい経つと、唾液の働きにより口の中は中性に戻り、溶け出したカルシウムやリンが歯の表面に取り込まれて結晶化します(再石灰化)。私たちの口の中ではいつもこの脱灰と再石灰化が行われており、このバランスがとれていればむし歯は発生しません。



◆ むし歯を予防するフッ素の三つのはたらき ◆

脱灰の抑制
と再石灰化
の促進

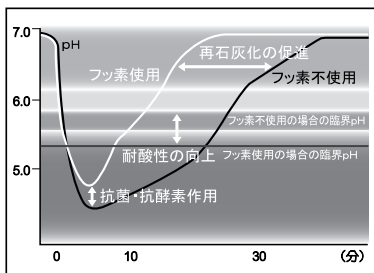
フッ素があると細菌の働きが抑制されます。おかげで脱灰は抑えられ、再石灰化がより進みます。

歯を強
くする

歯はフッ素を取り込むと、一部がフルオロapatiteという酸に強い安定した結晶に変化して強い歯になります。

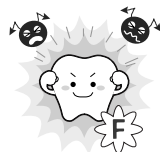
抗 菌
作 用

フッ素にはプラークの細菌の活動を抑制する働きがあります。(プラークが付きにくくなります。)



歯科衛生士 2004. 8月号 P. 63参考

◆ 予防に効果的なフッ素の使い方 ◆



- ① フッ素入り歯みがき剤の使用(お家での歯磨きに使います)
- ② フッ素洗口(お家でフッ素を使ってブクブクうがいをします)
- ③ フッ素塗布(歯科医院でフッ素を歯に塗ります)
- ④ フッ素を水道水に入れる ※日本ではあまり行われていません

フッ素の塗布は歯科医院でしかできません。
定期的な利用で積極的にむし歯を予防しましょう！

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

2010年
月号



あけましておめでとうございます。

今年も『明るく、楽しく、元気よく』過ごしたいものです。

世の中の景気が悪いと、地味でも実直に生活して行かないといけな
いような気がします。自分の事は、自分でしっかり管理したり、高い
理想、目標よりも少しだけ前進できる様な小さな到達点を設定する
ような...

一攫千金、一発大物よりも「出来る事からコツコツと」
そんな感じがストレスもたまらないような気がします。

本年も スタッフ一同頑張りますので よろしく願い致します。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。

このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

診療日
変更の
お知らせ

・診療日の変更はありません

こみや歯科

☎ 03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」 <http://www.dent-s.net/komiya/>

ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp